

平成15年度英語教員指導力向上研修「授業改善プロジェクト」

番号 15059

研究テーマ：speaking力を伸ばす工夫

所属 土佐市立土佐南中学校

氏名 吉川美希

R G J H 4

1. 研究の背景

- (1) 1年B組は男子15人、女子9人、計24人で語学学習には適度なクラスである。学習態度も真面目で、積極的に授業に参加することもあるが、当初より授業の中で、必ず英語を使わず練習と発表を入れるように、取り組んできた。
- (2) まだ英語学習を始めたばかりの1年生であり、特に問題点は見つからない。今までの経験では、中間テストの時にテストがよくできていても、期末テストで下がることも多かったが、それもなく、あまり苦手意識を持たず1学期を終えることができた。毎時間行っているペア練習と発表など、言語活動を嫌いにならずに意欲的な生徒に育ててほしいと目標を持っている。

2. リサーチクエスチョン

speaking に積極的に参加する生徒を育てるには

3. 予備調査

(1) 授業観察の結果

(2) アンケート

英語の授業に関するアンケート

1年()組 名前()

あなたは英語を読むことが好きですか。

イ. はい 45% □. いいえ 50%

あなたは英語を聞くことが好きですか。

イ. はい 54% □. いいえ 42%

あなたは英語を使って話すことが好きですか。

イ. はい 38% □. いいえ 58%

あなたは英語を書くことが好きですか。

イ. はい 50% □. いいえ 45%

～ の活動の中で、あなたが得意な活動、また苦手な活動は何ですか。

イ. 得意だと思う活動()

□. 苦手だと思う活動()

イ. 読むこと 29% □. 読むこと 20%

聞くこと 8% 聞くこと 29%

話すこと 0% 話すこと 33%

書くこと 25% 書くこと 29%

(3) 英語力を示すデータ

中間テスト度数分布

0～10点	0人
11～20点	0人
21～30点	0人
31～40点	1人
41～50点	1人
51～60点	1人
61～70点	2人
71～80点	4人
81～90点	5人
91～100点	10人

期末テスト度数分布

0～10点	0人
11～20点	0人
21～30点	0人
31～40点	4人
41～50点	0人
51～60点	0人
61～70点	0人
71～80点	4人
81～90点	6人
91～100点	10人

4. 仮説の設定

授業で必ず speaking の時間を設定して取り組んできた結果、speaking に抵抗がないのではと勝手に判断していたが、意外に苦手意識があることがわかった。反面あまり授業で取り組んでいない、書くことが意外に好きであったり、得意だと思っていることがわかった。しかし、ALTとの授業などでは簡単なQ & Aであるが、80%近くが自然に答えることができる。主体的に話すことが必要だと感じた。生徒に主体的に speaking させるといっても、まだ英語学習を始めたばかりの1年生には限界がある。そこで二学期は「speaking に自己評価を

取り入れれば、主体性、積極性が伸びる。」という仮説を立てた。

5 . 計画の実践

授業で生徒たちはA L Tと話す機会が月に1回はある。その授業後に生徒に次のような自己評価シートを書かせることにした。その中では、A L Tとの質問を理解すること、答えができることや、声の大きさはよかったか、リズムよく強弱をつけて、答えることができたかななどを目標として、5～1段階で評価をさせた。

5 (よくできた) 4 (だいたいよくできた) 3 (ふつう)
2 (あまりできなかった) 1 (できなかった)

6 . 実践の結果

9月に新しいA L Tを迎え、生徒たちの意欲は高くなってきていた。A L Tとの授業では、A L Tの自己紹介に関することや、カナダのこと、生徒にとって身近な話題、風物を取りあげ、答えたい意欲を高めるように心がけた。その結果12月の最後の授業では次のような結果を得た。

質問に答えることができた。

5 : 29 % 4 : 45 % 3 : 13 % 2 : 13 % 1 : 0 %

質問の意味が理解できた。

5 : 33 % 4 : 29 % 3 : 25 % 2 : 8 % 1 : 4 %

大きな声で答えた。

5 : 16 % 4 : 20 % 3 : 38 % 2 : 16 % 1 : 8 %

リズムよく強弱をつけて答えた。

5 : 16 % 4 : 16 % 3 : 33 % 2 : 21 % 1 : 13 %

英語で会話することが好きだ。

5 : 16 % 4 : 33 % 3 : 29 % 2 : 8 % 1 : 13 %

授業の中で好きな活動は何か。

英語を聞くこと : 42 %

英語を話すこと : 29 %

英語を書くこと : 38 %

英語を読むこと : 33 %

授業の中で嫌いな活動は何か。

英語を聞くこと : 21 %

英語を話すこと : 29 %

英語を書くこと : 33 %

英語を読むこと : 21 %

7 . 結果の検証と今後の課題

質問を理解し、答えができるレベルは、3以上と判断すると87%で、1学期の80%と比べると高くなっている。コミュニケーションを意識して声の大きさに気をつけることができるのは74%、リズムや強弱に気をつけることができるのは65%となり、主体的積極的な要素に必要な項目になるとやや下がっているが、自己評価活動を続けることにより、意識を向上させることを目指したいと思う。

また、4活動の中で英語を聞くことが好きな生徒は、一学期より34%増え、耳が慣れてきたことを伺わせる。話すことが好きな生徒も一学期は全くいなかったのが30%近くを増えているのも収穫であった。書くことが好きな生徒、読むことが好きな生徒も一学期よりやや増えている。このことより聞き話すことに積極性がでてきたことがわかった。反対に嫌いな活動では、聞くことが9%減り、話すことが4%減った。また読むことでは変化がなかった。が、書くことが嫌いとした生徒が4%増えており、聞き話すことに抵抗感が無くなった反面、一学期は結構好きだった書くことに抵抗感があり始めている。3学期は書くことや、語彙を増やすことが課題である。

8 . 研修のまとめ

今回の研修では日頃の授業で悩んでいることに、どう取り組むべきか教えていただいた。クラスによって違う悩みに気がつきながらも、対処できないまま見過ごしてしまい、どのクラスも同じ授業で流してしまったりすることも日々の授業の中ではありがちである。それを気がついたときに、いつどこからでもアンケートや評価をとることによって、授業を改善していくことができるということが、実践してみてわかった。自分のできたことは、ほんの些細な実践にすぎないが、これからの授業に生かすことができると思う。またたくさんの先生方のいろいろな実践を知ることができ、独りよがりな陥りがちな授業の励みにすることができた。またこれから英語教師として生きていくために、英語力の向上に努めなければならないことも実感した。自分の今の生活の中に、自分自身の英語力を向上させる時間をどう持つかが課題であるが、わずかな時間でも見つけて努力したいと思う。